

緑の風 NEWS

JR東労組



JR東労組ホームページ

East Japan Railway Workers' Union 2024年 12月 16日 No.66

ポーランド「日本美術技術博物館マンガ」 30周年記念式典に出席しました！

11月28日～12月4日にかけて、ポーランドにある「日本美術技術博物館マンガ」の30周年記念式典に6名で参加してきました。1992年、JR東労組は当時の松崎委員長のご提案のもと、世界的な映画監督アンジェイ・ワイダ氏の日本美術・技術センターを建てたいという情熱を支援し、街頭カンパ「1週間1人10円カンパ」に取り組みました。式典ではJR東労組を代表して中央本部高橋書記長が挨拶をしました。

「JR東労組が『日本美術技術博物館マンガ』設立に向けて取り組んだ募金活動の発起人であり、JR東労組とポーランドとの友好・連帯のためにご尽力いただいた、故松崎明元委員長も「30周年記念式典」をお祝いしていると思います。私たちJR東労組は、1995年からポーランド平和研修を行っています。その目的は、戦争の悲劇と犯罪の不幸の歴史に学び、日本において平和を守るための活動をするためです。JR東労組の運動の基本は、「抵抗とヒューマンイズム」です。ポーランドにはJR東労組組合員のカンパで建立された「ブエク炭坑慰霊碑」「グデニア慰霊碑」があります。戦争・紛争が絶えない情勢下において、平和のため、正義のため、さらに子どもたちの未来のために、これからもポーランドの皆さんとの友好を深めていければと思います。」(挨拶要旨)

その後、アンジェイ・ワイダ夫人のスピーチでは、「この博物館はJR東労組の組合員の協力や松崎明さんがいなければ設立できなかった。松崎明さんは心優しい人でした」と紹介された瞬間、会場は拍手喝采に包まれました。JR東労組の連帯と友好の歴史を実感することができました。



高橋書記長



この他、アウシュヴィッツ・ビルケナウ、ブエク炭坑などの現地を訪れ学び、来年は戦後80年を迎える中で平和な社会をつくり出すために連帯強化をめざしていくことを参加者で確認しました。

子どもたちの未来のために平和な社会をつくり出そう！